

# SF NEW

SOLID HUMBUCKING GUITAR

あのSGに好敵手。  
ハンバックキング・フルネサンスをここに  
敢行したニュー「SF」



イニシャル入りヘッド

ファンタスティックなSFによる  
わいマシンヘッドのイニシャル  
インレイ。糸巻は信頼性で定評の  
ヤマダイキャストトルク調整  
付を採用。パーフェクトチューニ  
ングこそサウンドの秘訣だ。



オープンハンバック「F-VI-V」

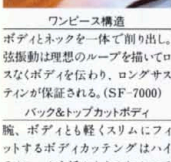
軽く、枯れたサウンドを弾きだす  
ニューFマイク。ボディのバ  
ランスも絶妙のマイルド&ウ  
ォームなオールファイリングをた  
たえた響きは、ハンバックモデル  
のもう一方の雄SGサウンドと双  
璧をなす。F-N、F-Vの両マイクは  
アルニコ合金マグネットを採用。  
1クロスメープル

メイプルとマホガニーをT字型に  
かみ合わせたボディ構造。音源と  
しての双方の長所をフルに引きだ  
すための入念なアブローチ(SF-7000)



オープンハンバック「F-III」

1マイクモデルSF-3000にマ  
ウントされたF-IIIマイクはフェ  
ライトマグネットを採用。サ  
ウンドキャラクターは他のSF  
モデルと通底しながらも、ア  
タック感のあるクリアー&  
パワフルな音創りが得意。



ワンピース構造

ボディとネックを一体で削り出し、  
弦振動は理想のループを描いて  
ロスなくボディを伝わり、ロングサ  
ステインが保証される。(SF-7000)



オリジナルレモロユニット

ヤマハ独自の最新設計。チューニ  
ングが狂いにくく、卓越した性能を



バイサウンドシステム

トーンプを押しただけでハンバ  
ッキングピックアップからシングル  
ボウンの音が出る驚異の秘密兵器。

発揮。繊細なビブラートプレイか  
らトリッキーなアームプレイまで、  
自在に弾き分けられる。(SF-3000)



## SF-7000

SG-2000の血を伝つタロスメープルナ  
ワンピース構造。卓越した演奏性とマイルドな  
ウォームな響きでプロの要求に応える  
ソリッドハンバッカーの鳴りつづきの頂点。

マイク=ハンバック「F-VI-V」×2  
コントロール=ボリューム×2、トーン(ブ  
ックアップ)×1、3DSW×1  
橋=メイプル+マホガニー  
指板=メイプル+メイプル  
指板=サトウダイゴサニー  
胴=楕円ワンピース構造  
弦=スーパーライトゲージ/重量=3.9kg  
¥120,000



(RS)  
レッドサンバース



(BS)  
ブラックサンバース



(RS)  
レッドサンバース



(AS)  
アンティークアスリン



(OS)  
オールドアスリン



(RS)  
レッドサンバース

## SF-3000

1マイクレモロユニットの  
シングルハンバッカー、ソリッドギターの  
エッセンスを凝縮して、強烈に自己主張する  
SFシリーズのハードモデル。

マイク=ハンバック「F-III」×1  
コントロール=ボリューム×1  
トーン(ブックアップ)×1  
橋=アルダー+楕円ワンピース  
指板=ローズ/メイプル+メイプル  
指板=ローズ/メイプル+メイプル  
弦=スーパーライトゲージ  
重量=3.4kg  
¥60,000

## SF-5000

アルダーボディの特質をフルに弾きだす  
ニューFマイクにはバイサウンドシステムも  
内蔵。ロックに、フェュージョンに、ライトサ  
ウンドが活きももつSFらしいSF。

マイク=ハンバック「F-N」×2  
コントロール=ボリューム×1、トーン(ブ  
ックアップ)×1、3DSW×1  
橋=アルダー+楕円ワンピース  
指板=ローズ/メイプル+メイプル  
指板=ローズ/メイプル+メイプル  
弦=スーパーライトゲージ  
重量=3.3kg  
¥80,000

## Humbucking Column

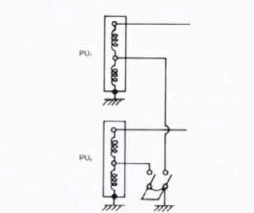
### I バイサウンドシステム

シリーズ配線にもパワフルなハンバックシステム  
と、パラレル配線によるシャープなシングルボ  
ビンサウンドが、SW操作で切り替えてくれる  
音創りの秘密兵器だ。つまり、1本のギターで2本  
分、3本分のサウンド/リエーションが楽しめるとい  
うわけ。しかもヤマハの場合、バイサウンド用のブ  
ックアップSWをトーンノブに組み込んで、リアルタイム  
の演奏性をグンと高めている。リードが1瞬時に  
ハンバックへ、あるいはトリッキーなサウンドメ  
ックに、ライブでの威力はかり知れない。フルアコAE  
の



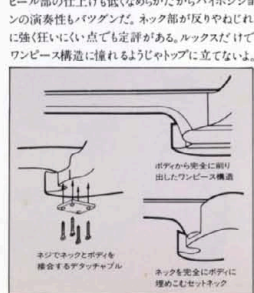
Photo:SG-2000

オーナーは、このバイサウンドシステムをハリ  
ンギンセラーとして活用することもあるようだ。採用機  
種=SG-1000-800、SF全機種(標準型)、SL-800S  
-700C-700S、SA-2000S-1200S、AE-2000-1200  
(バイサウンドシステム)



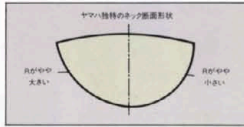
### II ワンピース構造

Tロスメープル+クワンピー構造という布陣でワ  
ンピース時代を主導してきた銘器SG-2000の血統は、  
SF-7000にしっかりと受け継がれている。メイプルと  
マホガニーという性質の異なる素材が音源として  
お互いの長所を引き出し合いながら、ボディとネック  
が一体で削り出されているためブリッジを受けた弦  
のエネルギーは切れ目のないループを描いて、その  
ヒール部の仕上げが低く、なめらかなから、ハイポジ  
ションの演奏性もバツグンだ。ネックが反りやわじれ  
に強(狂)にくい点でも定評がある。ルックスだけで  
ワンピース構造に憧れるようにトップに立てない。



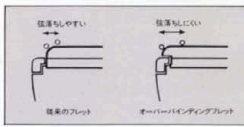
### III エッジシェイプのネック断面

ネックは演奏性の生命線だ。ヤマハは、全モデルと  
も1弦側のR(弧)を6弦側のRよりも小さくした独特  
のエッジシェイプの断面形状をもったネックを採用  
している。これは、楽器に不可欠の弾き応えを生む  
心地よい抵抗感とスムーズなフレット感を両立させる  
ためのアイデアだ。加えて、やや薄めのSFモデルや  
やや太目のSGモデルといったように、ボディやサ  
ウンドとのバランスを重視してリーズンごとに微妙な  
アレンジをしているから実際に弾いて確かめよう。そ  
してご存知のように、メイプルネックはバネチのある  
クリアーな音が、マホガニーネックは甘(粘)りのある  
音が特徴だ。



### IV ハンバック系専用の2.7mm幅フレット

ハンバックモデルの厚みのあるパワフルな響き  
をさらにフワットしてくれるのが2.7mm幅のフレット  
だ。しかも、指板のエッジ部分にバインディングが  
ほこられたモデル(SA, AE)でも、フレットを有効長  
いばいに延長したオーバーハインディングタイプ  
を採用。チョーキングやビブラートでも落ちの不安  
はないからじっくり気分よく弾ける。バインディ  
ングの有無にかかわらずヤマハのハンバックモデル  
の指板は厳格に磨き込まれているから、アルの早  
弾きやエディの3連トリルにピンピン捲んで欲しい。



### V ダイキャスト製トルク調整つき糸巻

スーパーテックも正確な音程がなければは  
やアウ。弦の強大な張力にもビクとせず、微調整  
思いのままの、スムーズに正確なチューニングを  
保証してくれる糸巻を選びたい。その点、ヤマハハ  
ンバックモデルに採用のオリジナル糸巻は剛性の高  
いダイキャスト製でトルク調整つき。その性能と信  
頼性は内外のプロミュージシャンの間で定評がある。

### VI ピックアップ特性: G vs F

ほぼ似た特性カーブをもちながらも、もっともハンバ  
ッキングらしいGマイク(SGモデル用)に比べピーク  
がなだらかにあらわれるFマイク(SFモデル用)は、  
むしろパワーを抑えながら中域がマイルドな、よりテ  
ラードな音創りを指向している。

